

# [保護者様向け] 児童発達支援 評価表 集計結果

公表日：2019年3月18日

利用児童数 48名 回収数 29名 60%

事業所名：音の森 はっさむ

H30.1 実施

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制設備	① お子さまの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	3%	0%	7%	0%		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか（基準は児童10人に対し職員3名）	90%	3%	0%	7%	0%		
	③ 事業所の設備等は、お子さまが安全かつ安心に通えるよう配慮がなされているか。事業所内は、お子さまにわかりやすい※ <b>構造化された環境</b> になっているか。	86%	3%	0%	10%	0%	見学する機会がない。	昨年度も通信にてお知らせさせて頂きましたが、夏休み・冬休み期間に療育見学会を実施させて頂いておりますので、お申し出お待ちしております。
	④ 事業所内は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、お子さまの療育活動に合わせた空間となっているか	86%	3%	0%	10%	0%	・見学する機会がない。 ・通所後に感染症になったこともなく、手洗いなどきちんとやっていることがわかります。	衛生管理マニュアルを作成し、感染症に対しては未然防対をさせて頂いております。
適切な支援の提供	⑤ お子さまの課題と保護者さまのニーズが客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	93%	3%	0%	3%	0%		
	⑥ 個別支援計画には、お子さまの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	86%	10%	0%	3%	0%		
	⑦ 個別支援計画に沿った支援が行われているか	83%	10%	0%	7%	0%		
	⑧ 療育プログラム内容が固定化しないよう工夫されているか	79%	7%	0%	14%	0%		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や活動する機会を希望されますか	41%	34%	17%	7%	0%		
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	83%	10%	0%	7%	0%		
	⑪ 「個別支援計画」を示しながら、支援内容について丁寧な説明がなされたか	93%	3%	0%	3%	0%		
	⑫ 保護者さまに対して行われる家族支援プログラム（※ <b>ペアレント・トレーニング</b> 等）の機会を希望されますか	55%	34%	7%	3%	0%	・必要が出てきたら検討するかもしれません。	保護者様のニーズに合わせて対応して行きたいと思います。
	⑬ お子さまの状況や課題について共通理解ができていると思いますか	86%	10%	0%	3%	0%		
	⑭ 保護者さまに対して面談や、育児に関する助言要請があった場合、適切に対応しているか	79%	14%	0%	7%	0%		
	⑮ 茶話会等の開催等により保護者様同士の連携が支援されているか	69%	3%	14%	14%	0%		
	⑯ お子さまや保護者様からの相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応されているか	86%	3%	0%	10%	0%		
	⑰ お子さまや保護者さまとの意思の疎通や情報伝達は適切になされていますか	93%	7%	0%	0%	0%	・連絡帳に次回利用日の記載があると助かる。 ・連絡帳がとてども丁寧に読ませてもらっています。	今後必要な場合は、利用日確定書等利用してお知らせしていきたいと思います。
	⑱ 定期的に会報(オトモリ通信)やホームページ等で、活動概要や行事予定などは十分に発信されているか	86%	7%	3%	3%	0%	ブログ、写真等子どもたちの様子があるといい。	個人情報の観点から一般公開や限定公開は難しい現状です、療育見学会や発表会をご活用頂ければと思います。
非常時等の対応	⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	86%	0%	0%	14%	0%		
	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しておりますが、保護者さまに周知・説明されているか	69%	14%	3%	14%	0%		
満足度	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われているか	83%	0%	0%	17%	0%		オトモリ通信にもお知らせしておりますが、毎年6月と9月に火災および災害避難訓練を実施しております。
	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	97%	3%	0%	0%	0%		
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	90%	7%	0%	3%	0%	1日通してみてもなお良い。	音楽療育を集中して行う当事業所では、午前中に未就園児クラス、午後には就園児クラスを実施している為、1日を通した療育が難しい現状です。

(注釈) ※「構造化された環境」とは、この部屋で何をやるのか示せるように、タイルカーペットの色をわけてたり棚の配置場所などお子さまの本人にわかりやすくすることです。

※「ペアレント・トレーニング」とは、保護者さまがお子さまの行動を観察して障がい特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、お子さまが適切な行動を獲得することを目標とします。